

○国立大学法人帯広畜産大学大学院畜産学研究科履修規程

(平成 16 年 4 月 8 日規程第 65 号)

改正 平成 18 年 2 月 15 日規程第 5 号 平成 19 年 2 月 19 日規程第 19 号
平成 19 年 3 月 14 日規程第 27 号 平成 20 年 3 月 6 日規程第 10 号
平成 22 年 3 月 18 日規程第 11 号 平成 24 年 3 月 14 日規程第 5 号
平成 24 年 9 月 12 日規程第 36 号 平成 27 年 7 月 15 日規程第 34 号
平成 30 年 2 月 14 日規程第 12 号

(趣旨)

第 1 条 帯広畜産大学大学院畜産学研究科の履修に関する事項は、国立大学法人帯広畜産大学大学院学則(平成 16 年学則第 2 号。以下「大学院学則」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(授業科目及び単位数)

第 2 条 各課程の授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

(修了要件単位)

第 3 条 Ⅰ-14 課程 (以下「博士前期課程」という。)の学生は、当該課程の授業科目から、共通コア科目 6 単位、英語科目 2 単位、コース必修科目 14 単位及びコース選択科目 4 単位以上を含めて 30 単位以上を修得しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、博士前期課程において畜産衛生学位プログラムを選択する学生は、コース必修科目のうち各コースの特別研究Ⅱに代えて畜産衛生課題研究、コース選択科目に代えて HACCP 科目及び 6 次産業化科目から選択することができる。

3 博士前期課程において畜産衛生学位プログラムを選択し、修士(畜産衛生学)の学位を得ようとする学生は、前 2 項に規定するほか、当該課程の授業科目から、畜産衛生学位プログラム科目のうち学位プログラム必修科目 4 単位と HACCP 科目及び 6 次産業化科目から 6 単位以上を修得しなければならない。

4 畜産科学専攻博士後期課程 (以下「博士後期課程」という。)の学生は、当該課程の授業科目から、共通コア科目 9 単位を含めて 12 単位以上を修得しなければならない。

5 前項の規定にかかわらず、博士後期課程において畜産衛生学位プログラムを選択し、博士(畜産衛生学)の学位を得ようとする学生は、当該課程の授業科目から、共通コア科目 9 単位、畜産衛生学位プログラム必修科目 1 単位及び畜産衛生学位プログラム科目 6 単位以上の 16 単位以上を修得しなければならない。

6 獣医学専攻博士課程 (以下「博士課程」という。)の学生は、当該課程の授業科目から、共通コア科目 9 単位及び専攻必修科目 9 単位を含めて 30 単位以上を修得しなければならない。

(履修方法)

第 4 条 博士前期課程の学生は、主指導教員の意見を聴いて、当該学年内において履修しようとする科目を定め、毎学年始めに履修届を専攻長に提出しなければならない。た

だし、共通演習科目については、学年の途中からでも履修することができるものとする。

- 2 前項ただし書きによる場合、当該科目の履修開始前に、履修届を専攻長に提出しなければならない。
- 3 博士後期課程及び博士課程の学生は、主指導教員の意見を聴いて、当該課程修了までに履修しようとする科目を定め、入学した年の学年始めに履修計画書を専攻長に提出しなければならない。
- 4 博士後期課程及び博士課程の学生が、履修計画を変更しようとする場合は、主指導教員の承認を得た上、変更しようとする科目の履修開始前までに履修計画書変更届を専攻長に提出しなければならない。

第5条 主指導教員が特に必要と認めた場合に限り、学部の授業科目を当該授業担当教員の承認を得て履修することができる。

- 2 博士後期課程及び博士課程の学生は、主指導教員が特に必要と認めた場合に限り、博士前期課程の授業科目を当該授業担当教員の承認を得て履修することができる。
- 3 前2項の規定により修得した単位は、第3条の単位数には充当しない。

(成績審査)

第6条 成績審査は、当該科目の授業に7割以上出席した者でなければ受けることができない。

- 2 成績及び成績審査に関する他の事項は、国立大学法人帯広畜産大学学則（平成16年学則第1号）を準用する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、研究科の履修に関し必要な事項については、学長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月8日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 国立大学法人法(平成15年法律第112号)附則別表第1の上欄に掲げる帯広畜産大学の大学院に、平成16年3月31日に在学する者の履修に関する事項については、なお従前の例による。

附 則(平成18年2月15日規程第5号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年2月19日規程第19号)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月14日規程第27号)

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行し、平成 19 年度入学者から適用する。

附 則(平成 20 年 3 月 6 日規程第 10 号)

この規程は、平成 20 年 3 月 6 日から施行する。

附 則(平成 22 年 3 月 18 日規程第 11 号)

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行し、平成 22 年度入学者から適用するものとし、平成 22 年 3 月 31 日現在研究科に在籍する者の履修に関する事項については、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年 3 月 14 日規程第 5 号)

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 9 月 12 日規程第 36 号)

この規程は、平成 24 年 10 月 1 日から施行し、平成 24 年 10 月入学者から適用する。

附 則(平成 27 年 7 月 15 日規程第 34 号)

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行し、平成 28 年度入学者から適用する。

附 則(平成 30 年 2 月 14 日規程第 12 号)

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行し、平成 30 年度入学者から適用する。

別表(第 2 条関係)

畜産科学専攻 (博士前期課程)

区分	授業科目	単 位	必修・選択区分 (畜産衛生学位プロ グラム履修者以外)	畜産衛生学位プロ グラム履修者 必修・選択区分
共通コア科目	国際農畜産衛生科学特論	2	◎	◎
	生物資源環境科学特論	2	◎	◎
	特別研究特論	2	◎	◎
英語科目	English Communication for Science	2	◎	◎
動物医科学コース必修科目	動物医科学特別研究Ⅰ	4	○	○
	動物医科学特別研究Ⅱ	4	○	△
	動物医科学特論	2	○	○
	動物医科学特別演習	4	○	○
	動物機能医科学特論Ⅰ	2		

動物医科学コース 選択科目	動物機能医科学特論Ⅱ	2		
	動物病態・病因制御学特論Ⅰ	2		
	動物病態・病因制御学特論Ⅱ	2		
	動物臨床科学特論Ⅰ	2		
	動物臨床科学特論Ⅱ	2		
	動物臨床科学特論Ⅲ	2		
家畜生産科学コース 必修科目	家畜生産科学特別研究Ⅰ	4	○	○
	家畜生産科学特別研究Ⅱ	4	○	△
	家畜生産科学特論	2	○	○
	家畜生産科学特別演習	4	○	○
家畜生産科学コース 選択科目	家畜育種繁殖学特論	2		
	家畜管理栄養学特論	2		
	家畜生体機能学特論	2		
環境生態学コース 必修科目	環境生態学特別研究Ⅰ	4	○	○
	環境生態学特別研究Ⅱ	4	○	△
	環境生態学特論	2	○	○
	環境生態学特別演習	4	○	○
環境生態学コース 選択科目	環境生命科学特論	2		
	生態システム生命科学特論	2		
	保全生態リスク管理学特論	2		
食品科学コース 必修科目	食品科学特別研究Ⅰ	4	○	○
	食品科学特別研究Ⅱ	4	○	△
	食品科学特論	2	○	○
	食品科学特別演習	4	○	○
食品科学コース 選択科目	食品加工・利用学特論	2		
	食品栄養化学特論	2		
	食品機能科学特論	2		
農業経済学コース 必修科目	農業経済学特別研究Ⅰ	4	○	○
	農業経済学特別研究Ⅱ	4	○	△
	農業経済学特論	2	○	○
	農業経済学特別演習	4	○	○
農業経済学コース 選択科目	畜産経営学特論	2		
	農業政策学特論	2		
	応用農業統計学特論	2		

農業環境工学コース必修科目	農業環境工学特別研究Ⅰ	4	○	○
	農業環境工学特別研究Ⅱ	4	○	△
	農業環境工学特論	2	○	○
	農業環境工学特別演習	4	○	○
農業環境工学コース選択科目	農業機械システム工学特論	2		
	農業農村工学特論	2		
	農業環境物理学特論	2		
植物生産科学コース必修科目	植物生産科学特別研究Ⅰ	4	○	○
	植物生産科学特別研究Ⅱ*1	4	○	△
	植物生産科学特論	2	○	○
	植物生産科学特別演習	4	○	○
植物生産科学コース選択科目	植物遺伝育種学特論	2		
	植物生産環境学特論	2		
	植物生産管理学特論	2		
畜産衛生学位プログラム科目	畜産衛生学特論	2		○
	食品衛生・有害物質特論	2		○
	畜産衛生課題研究	4	×	△
HACCP 科目	HACCP システム構築演習	2		
	食品関連法規と食品製造・加工設備保全特論	2		
	食品検査学演習	2		
6次産業化科目	食品流通・地域産業活性化特論	2		
	企業戦略特論	2		
共通教養科目	環境法制度論	2		
	教育学特論	2		
	教育心理学特論	2		
	歴史と生命	2		
	体育と健康	2		
	「北海道文学」論	2		
	西洋環境文化論	2		
	外交と食料	2		
	知的財産制度論	2		
	教育統計と教育データ分析	2		

共通演習科目	海外フィールドワークⅠ	2		
	海外フィールドワークⅡ	4		
	国内フィールドワーク	2		
	アカデミックプレゼンテーション演習	2		
	コーポレートワーク演習	2		

備考

- ◎印は共通必修科目，○印はコース／学位プログラム必修科目，△印は学位プログラム選択必修科目，無印は選択科目，×印は選択不可科目を示す。
- 共通演習科目の1単位は30時間，それ以外の演習科目の1単位は15時間とする。

畜産科学専攻（博士後期課程）

区分	授業科目	単位	必修・選択区分 (畜産衛生学位プログラム履修者以外)	畜産衛生学位プログラム履修者必修・選択区分
共通コア科目	リサーチコミュニケーション	1	◎	◎
	獣医・農畜産学特論	1	◎	◎
	獣医・農畜産学特別演習	1	◎	◎
	特別研究	6	◎	◎
専攻選択科目	English Communication for Science	2		
	獣医・農畜産学特別講義	1		○
畜産衛生学位プログラム科目	食品安全マネジメント・内部監査演習	2		
	家畜疫学特論	2		
	家畜衛生学特論	2		
	衛生経済学特論	2		
	国際衛生制度特論	2		
共通演習科目	国内リサーチ演習	1		
	海外リサーチ演習	1		
	国内フィールドワーク演習	1		
	海外フィールドワーク演習	1		

	リサーチプロポーザル演習	1		
	リサーチデータ解析演習	1		
	リサーチプレゼンテーション演習	1		
	リサーチペーパーライティング演習	1		
	リサーチマネジメント演習	1		
	アカデミックレクチャー演習	1		
	アカデミックティーチング演習	1		
	社会人特別演習	1		

備考

- ◎印は共通必修科目，○印は学位プログラム必修科目，無印は選択科目を示す。
- 演習科目の1単位は15時間とする。

獣医学専攻（博士課程）

区分	授業科目	単位	必修・選択区分
共通コア科目	リサーチコミュニケーション	1	◎
	獣医・農畜産学特論	1	◎
	獣医・農畜産学特別演習	1	◎
	特別研究	6	◎
専攻必修科目	獣医・農畜産学特別講義	1	○
	獣医学特論Ⅰ	2	○
	獣医学特論Ⅱ	2	○
	獣医学特別演習Ⅰ	1	○
	獣医学特別演習Ⅱ	1	○
	English Communication for Science	2	○
専攻選択科目	基礎獣医学特論	2	
	基礎獣医学特別演習Ⅰ	2	
	基礎獣医学特別演習Ⅱ	2	
	臨床獣医学特論	2	
	臨床獣医学特別演習Ⅰ	2	
	臨床獣医学特別演習Ⅱ	2	
	応用獣医学特論	2	
	応用獣医学特別演習Ⅰ	2	

	応用獣医学特別演習Ⅱ	2	
	動物医療センター特別演習	1	
	動物・食品検査診断センター特別演習	1	
	原虫病研究センター特別演習	1	
畜産衛生科目	食品安全マネジメント・内部監査演習	2	
	家畜疫学特論	2	
	家畜衛生学特論	2	
	衛生経済学特論	2	
	国際衛生制度特論	2	
共通演習科目	国内リサーチ演習	1	
	海外リサーチ演習	1	
	国内フィールドワーク演習	1	
	海外フィールドワーク演習	1	
	リサーチプロポーザル演習	1	
	リサーチデータ解析演習	1	
	リサーチプレゼンテーション演習	1	
	リサーチペーパーライティング演習	1	
	リサーチマネジメント演習	1	
	アカデミックレクチャー演習	1	
	アカデミックティーチング演習	1	
	社会人特別演習	1	

備考

- 1 ◎印は共通必修科目，○印は専攻必修科目，無印は選択科目を示す。
- 2 演習科目の1単位は15時間とする。